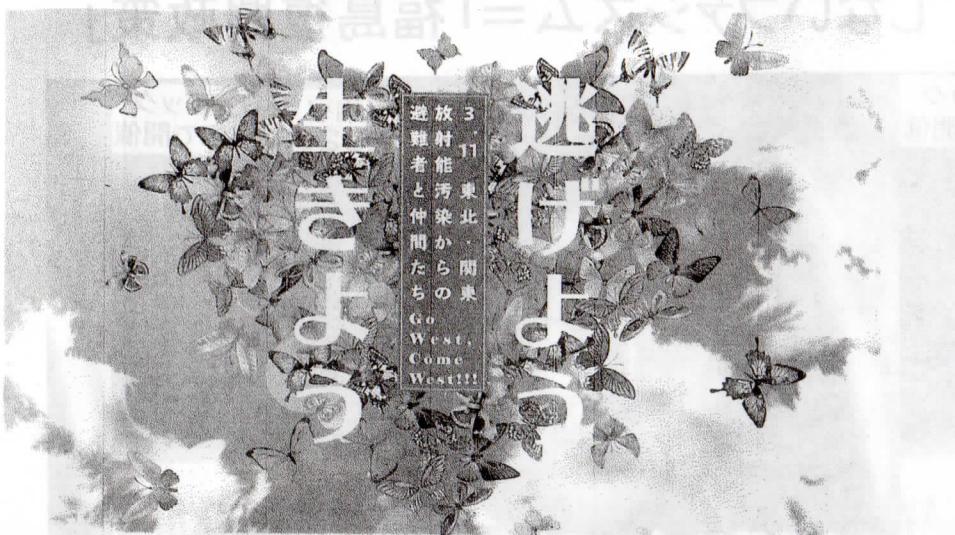


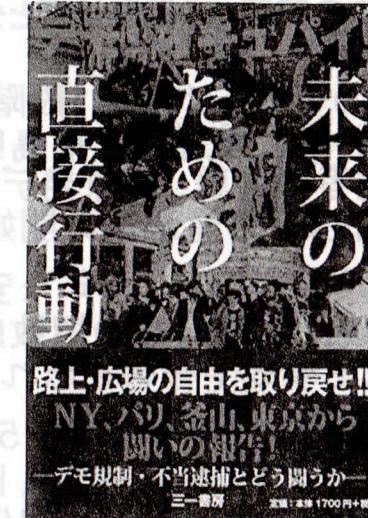
放射能による健康被害と、被害・隠蔽の
タブー化はどこまで深刻化しているか
(園良太 6月1日 高知市グリーン市民ネットワーク総会)



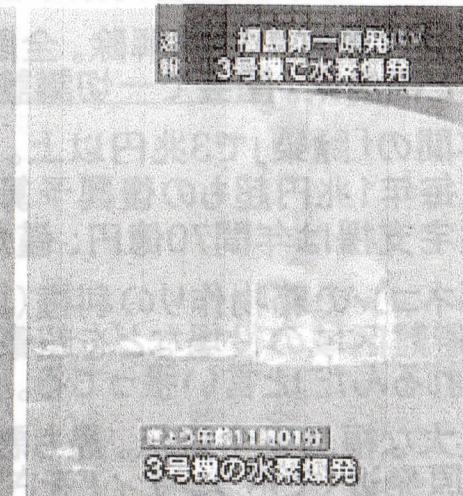
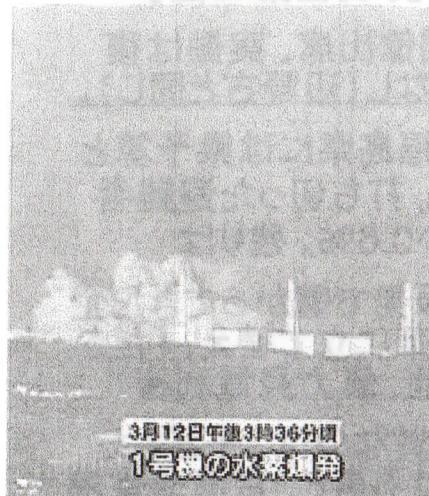
講師自己紹介—園良太

- 1981年東京生まれ、東京育ち。10代後半は生き辛さを抱え、定時制高校経て大学で社会学を学ぶ
- 2002年、米国のアフガニスタン「対テロ戦争」に反対したいと思って若者のデモへ参加。以降、東京でイラク反戦、「フリーター全般労働組合」、「辺野古リレー」などに関わり続ける。
- 2011年3月18日、「東電前アクション」を開始。自粛ムードに対して、声を上げる場作り、責任者の追及以降、原発やめろデモ、経産省前テント、福島集団疎開裁判。『ボクが東電前に立ったわけ』も出版。
- 15年に心臓の不整脈発病、16年末に大阪へ避難。避難者と住民運動「ゴーウエスト」立ち上げ。家族も友人もほぼ全員残っており、働きかけている。

お招き頂き光栄です。高知大好きです!
2冊本を出しています。三一書房<https://31shobo.com/>からぜひ
資料の『人民新聞』の購読もお願いします。people@jimmin.com



「史上最悪の事故」の全てが隠されている。
今も日本は原子力緊急事態宣言中。



今日の講演ー「史上最悪の事故」の本番(第3段階)を、避難者／健康被害者として語る
①政治の問題 ②健康被害とタブー化 ③今後すべきこと

- ・大まかな区分け。第1段階(2011年～12年)：事故発生、民主党政権と福島県からの集団避難、自主避難者の避難、反原発デモの高揚。「除染」を核とした復興・帰還政策の開始
- ・第2段階(13年～15年)：安倍政権。帰還政策の大宣伝と、東京五輪の招致成功。避難区域解除。人々も事故や被害を忘れ、タブー化していく。
- ・第3段階(16年～現在)：5年目の健康被害の本格化。16年末「除染完了」、区域大幅解除、住宅打切り。「事故被害はゼロ」宣伝と汚染物質の全国拡散

・福島復興政策一避難区域解除を決めているのは官邸主催の「原子力災害対策本部」。現在第49回。

最新は大熊町の避難解除。全閣僚出席、実働は復興庁と福島県。国会で一切議論なし(辺野古と同じ)。

・5年間の「除染」で3兆円以上。福島県には県予算と別に毎年1兆円超もの復興予算。打ち切った避難者の住宅支援は年間70億円、僅か0.6%。残りは

①ゼネコンの箱物作りの利権(原発で儲かってきた企業。避難区域の役場などを超豪華に立て替え、「だから帰れるんだ」と言い張ってる。他、風力発電利権)

②巨大な福島安全宣伝。最も悪質なのは、子どもたちに原発近くでボランティアをさせる事と、台湾や香港の地方の学校に金を出し、修学旅行をさせている事。

①政治の問題 誰も検証や批判をしないファシズム＝「福島復興政策」

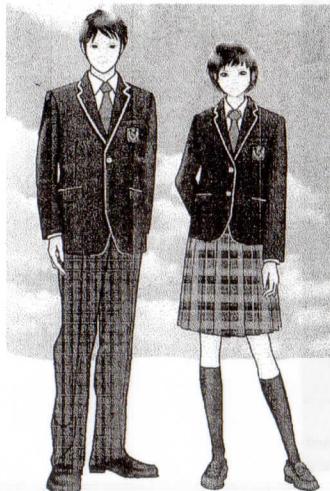


復興政策こそ問題の根源、悪質の極み

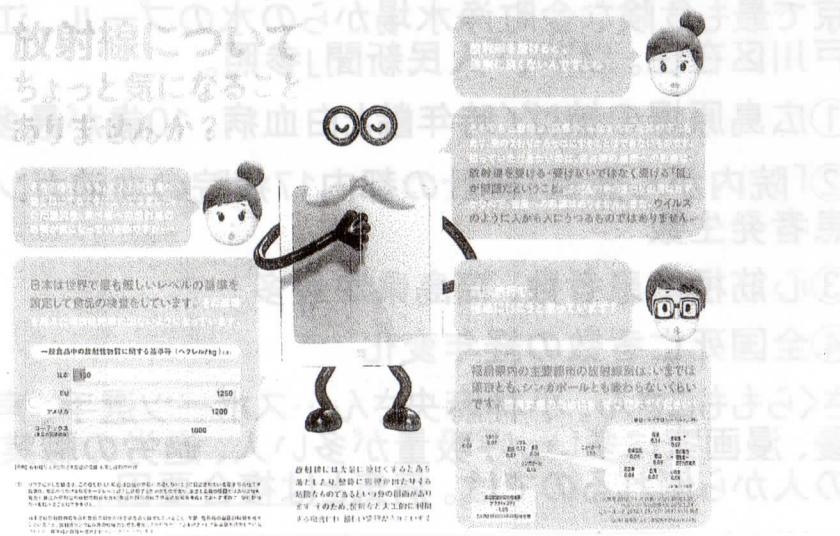
- ・「緊急事態条項」は始まっている。「原子力緊急事態法」。20msv引上げ等。これは見えない戦争。
- ・森友、加計などの利権政治、嘘と改ざん、独裁政治は「復興政策」「アンダーコントロール」から。
- ・史上最悪の事故。被ばくを隠して莫大な人命が奪われている点で最も悪質。今すぐやめさせるべき。
- ・金額も桁違い。また人の善意が悪用され、民間も巻き込まれている点で、最も厄介。
避難者への裏切り者扱い、家族離散、「風評被害」それを批判るべき社会運動も、被ばく地の福島・関東に本部がある。解体を恐れて批判できない。

第3段階一福島復興政策から 被ばく被害ゼロ政策へ

ふたば未来学園開校(15年、原発隣の広野町、将来の原発作業員養成所と言われる)→全国のPTAに配布した放射能安全本(18年)



三重県:秋山整形外科クリニックのブログ「復興庁からリーフレット「いまどきママパパの基礎知識(放射線について)」が届きました。今回は、妊産婦や乳幼児の保護者を主な対象としたリーフレット。無知で誰かを傷つけないようにと。大切なことですね」(不安視=差別者扱いが目的)



<被ばく被害ゼロ政策一被害爆発を隠ぺいで対策>

2017年末、政府が「風評被害払拭のための原子力タスクフォース」を全省庁に指示。「風評被害を助長するものは無根拠、差別。取り締まっていくべきだ」

文科省:「被ばく被害も福島事故の被害もゼロ」を柱とした放射線のホントや、放射線副読本も改悪して配布、子どもと保護者を洗脳。全国で問題化、止めた所も多数(圧力を避けるため、それを非公表の所も多し)

農水省:「食べて応援」強化。国は東日本農産物を輸入規制する韓国に対し韓国産ヒラメ輸入規制で対抗
外務省:海外観光客の徹底した呼込み。近年急増。

厚労省:病院の被害統計を取らない出さない。因果関係を否定。全国の病院にも放射能安全パンフ送付。

総務省:(恐らく)マスコミ対策。帰還・復興に関わる人だけを報道。昨年の「紅白」で「嵐」は避難区域の飯館村を訪問。
→東京五輪までに避難者・避難区域をゼロにが国際公約。

でも放射能とは「見えぬけれどもあるんだよ。見えぬものもあるんだよ。」(金子みすず「星とたんぽぽ」「童謡全集 空のかあさま 上」所収より)



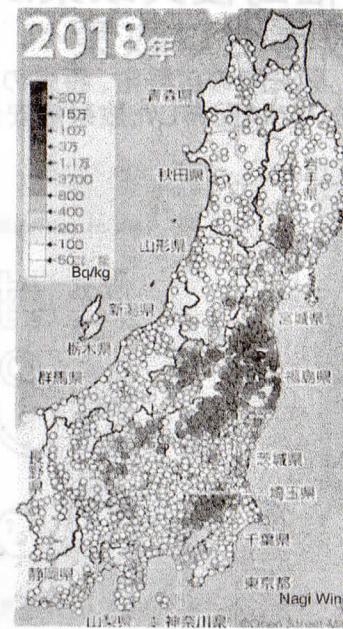
②健康被害・隠ぺい・タブー化

- 私は「第3段階」の避難者だと思ってます。「あらゆる病気が、大勢に、関東でも、全世代に」出る事。
- 2015年夏、不整脈で倒れて入院。それまで内科の病気にかかったことは一度も無かったのに。脈が飛び、外で倒れて寝込む。手首を触るとわかるため、不安定・不眠に。精神安定剤を飲み始める。
- 医者は「徐脈は治らない。悪化したらペースメーカーを入れることになるよ。放射能？関係ないよ」次の入院では隣に突然死病の患者。「治らないよ」
 Chernobyl は不整脈が激増(解剖学者解明)。5年目から健康被害が急増。避難を希望し始める。

福島県南相馬市立総合病院事務課が公表した患者統計(累積)。大山議員が情報開示させた

傷病名	2010年	2017年	増加率
甲状腺がん(成人)	1	29	29.0倍
白血病	5	54	10.8倍
肺がん	64	269	4.2倍
小児がん	1	4	4.0倍
肺炎	245	974	約4倍
心筋梗塞	39	155	約4倍
肝臓がん	12	47	約4倍
大腸がん	131	392	約3倍
胃がん	147	333	2.2倍

現在の土壤汚染(「みんなのデータサイト」より)
①放射能は出続けている。危険な原子炉解体作業で再拡散



相次ぐ若い著名人の大病・急死 (彼らは仕事柄首都圏に集中している)

- 池江璃花子選手の白血病。3.11の時に10歳。東京で最も危険な金町浄水場からの水のプール、江戸川区在住。以下、「人民新聞」参照。
 - 広島原爆の被ばく時年齢と白血病。10歳が最多
 - 「院内がん登録」統計の都内17病院の血液ガン患者発生数
 - 心筋梗塞患者数、福島県が最多
 - 全国死者数の経年変化
- さくらももこさん、小林麻央さん…スポーツ選手、声優、漫画家に多い。呼吸量が多い人、過労の職業の人から倒れるのでは。病気とは複合要因。

周囲でも被害急増—2015年秋に37歳で末期大腸がんとなり、17年夏に死亡した東京の松平耕一さん。友人や家族の病気・病死が、私を動かしている



- 群馬県から避難したSさんから(全て群馬の話)
- 地元市内の産婦人科院長50代の突然死
- お花屋さんのご主人40代の突然死
- 先日久しぶりに集まったサークル仲間、男女合わせて7人なんですが、私以外すべての仲間の実家の父母、そして嫁ぎ先の義父母の半分が亡くなっていて、半分が病気や看病が必要になっている状態でした。
- 先輩のお母さん70代、友人のお母さん70代、友人のご主人50代、生徒のお母さん40代の突然死。
- 子どもがお世話をになった保育園の先生のお母様とお姉様が、がん発症2週間で死亡。
- 姪っ子の親友16歳、後輩15歳の相次ぐ2人の突然死が3ヶ月のうちに起こりました。

- 東京のほしのめぐみさんから、直接の知人の被害状況(ゴーウエストHP)
- 脳出血(30代男性、死亡)
- 突然死(50代女性、前のバイト先の女性)
- 心臓の疾患(50代男性、30代男性)
- 癌(30代男性大腸・死亡、50代男性・死亡、40代男性膵臓・死亡)
- 40代がん死、60代男性急死
- 40代男性急死、40代女性急死
- 50代男性急死
- 60代男性急死2名

東京の友人たちを襲う病気と、その問題

- ①18年末にがん発覚の39歳が、3ヵ月後に多臓器不全で死亡。似た実例多数。甲状腺異常多数。
→被ばくは特定臓器にたまり、病気を潜伏させ、進行を早める。見つかった時には手遅れになる。
- ②3.11前まではバリバリ動いていた30歳が、事故後に極度の化学物質過敏症に。髪が白髪、外出時はガスマスクし、杖をつき、電車に座る時は持参のシートをしく。現在連絡が取れない。
・治らないうつや風邪。関西の方が明らかに少ない感じた。
→被ばくは脳神経全体にも影響し、あらゆる病気を引き起こす。三田茂医師「新ヒバクシャの能力減退賞」(「原爆ぶらぶら病」の3.11版)

311健康被害者とは何か？どうなるのか？

- ・松平さん：「病気は福島原発のせいだ、東電を許さない」とネット等で公言したほぼ唯一の死者。壮絶な怒りと悲しみだった筈。だが大きな話題にならず
- ・東京も土壤汚染や水道汚染が酷い。家族と関係が悪く、「食べて応援」系で外食をし続けた。
- ・さらに、福島から送られる東電の賠償書類を、狭い室内でコピーする仕事をしていた。紙に付着した放射性微粒子を吸い続けていた危険性。この派遣仕事は膨大な人が従事。東電は仕事内容を口止め。
- ・がん検診は40歳以上しか受けられない。発見が遅れる。お金がなく、闘病生活も自分で手続きする。

国は「放置」と「嘘」で被害を隠す。ではなぜ住民自ら被害をタブー化するのか

- ・私の経験一倒れると家や病院から出られなくなる。発信できなくなる。被害者の存在が外に知られない。「あの人最近見ないね」で終わる。
- ・国が繰り返す「被ばくとの因果関係が証明できない」を被害者も内面化してる。被害を主張できない
- ・被害者が先輩被害者と出会えないまま、孤立し、倒れ、消えていく→過去の公害の大規模繰り返し
- ・水・空気・土は生物の基本。それが汚染されたら生きられない。絶望とパニック。だから考えない。
- ・自分や子どもの将来、「命」について深く考えられなくなる。目先で手一杯…日本社会全体の傾向。

健康被害者は「支援ゼロ」 貧困、孤立、因果関係否定…究極の棄民政策

- ・40代友人、16年秋に白血病。抗がん剤を打つ金がないため、仕事を続ける。
- ・40代友人、今年4月に悪性大腸がん。「双葉町をマスク無しで歩いた事は一生の不覚」。まだ子どもが2人いる。どうするのか？
- ・病者に対する避難呼びかけも、治療支援も皆無。
- ・前代未聞の悲惨。小さな子どもが死ぬ。まだ子どもが小さいのに親が死ぬ。まだ親が元気なのに中年の子どもが先に死ぬ。白昼夢のような葬式(松平)
- ・全て、放置する国と東電に殺されること。

このままだとどうなる？未来予測が必要－今の放射線量の中に居続ける場合の死者数
(出典：桐島瞬「放射能は減っていない！首都圏の(危)要除染スポット」講談社『フライデー』2015年3月20日号)

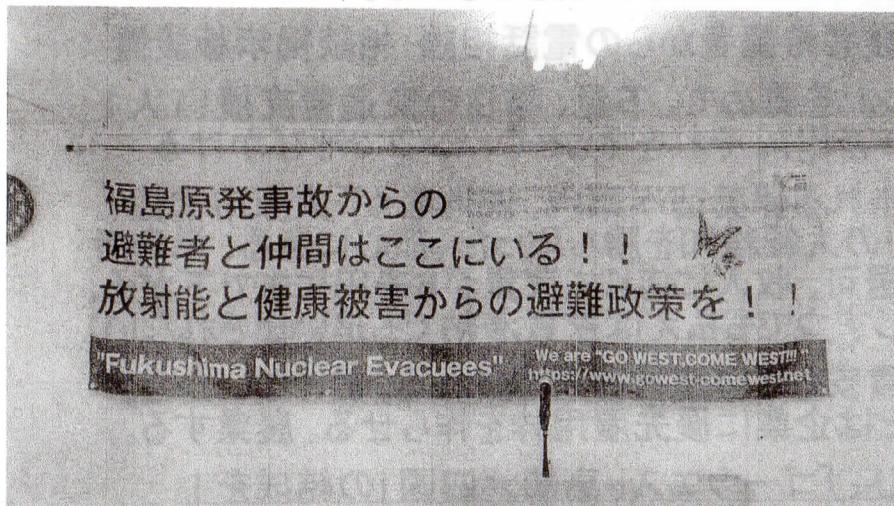
測定場所	13年3～4月	14年7～8月	15年2～3月
JR東京駅	0.26	0.26	0.23
成田国際空港	未測定	0.55	0.42
羽田空港	未測定	0.19	0.31
月島高層ビル群	0.26	0.32	0.28
東京電力本店	0.23	0.24	0.23
東京ドーム	0.28	1.88	1.32
東京ディズニーランド	未測定	0.63	0.41
東京スカイツリー	0.23	0.25	0.07
新宿中央公園	未測定	0.23	0.2
海の見える丘公園	未測定	0.19	0.18
上野恩寵公園	0.29	0.79	0.33
葛西臨海公園	1.52	0.24	0.22

空前の殺りく一東京圏1000万人が桐島氏の実測値 (年間2.4ミリSv以上)を被ばくした場合のリスクモデル

関東全体は4500万人=4.5倍=致死リスク合計は1200万人。初期被ばく抜きでも。福島はもっと。ECRR(歐州放射線防護委員会)は、ICRP(国際放射線防護委員会)の過小評価率を約40分の1としており数を40倍に補正する必要

	ガン発症	ガン死	非ガン死	致死リスク 合計
ICRP2007リスク 係数	1830人	450人	考慮されず	
ICRP年間	4400人	1100人	考慮されず	
50年	13万2000人	3万2000人	考慮されず	
ECRR補正 年間	17万6000人	4万4000人	考慮されず	
50年	528万人	128万人	考慮されず	
非ガン死 年間	同上	同上	4万4000人	8万8000人
50年	同上	同上	128万人	256万人

③私たちが今後すべきこと、希望ー



復興政策の被害は明日の私たち 「どこで事故が起きても人は住める」

- ・西日本から原発稼動中。いつでも大事故。今度は自民党政権、原発地元すら避難させない可能性。そして地元は復興政策の嵐を受け、狭い人間関係の中で黙らされる。復興ボランティアに動員される
- ・周辺の都会は「地元が逃げてないから避難は尚更必要ない」となる。復興五輪、万博等を招致する。
- ・「放射能は安全」→汚染土の全国再利用が進む（横浜では汚染土を埋めた保育園で2人が白血病）
- ・「福島や関東を見ろ、大勢が住んでるから大丈夫」
- ・世界中の事故で言われる。東日本はその実験場。人事ではないから、「復興帰還政策」に反対を！

国、東北・関東の住民、その他の住民、避難者。4方向で行動が必要

- ・国がすべきこと:
 - ①福島原発事故の状況を全て報道させること。これで住民が危険性に気づき、分断がなくなる
 - ②国会や地方議会で復興・帰還政策を議論させ、避難政策に転換させること。移住費用を出すこと。これで住民が避難・移住ができるようになる。
 - ③避難者に生活支援をすること。誰も死なせるな
- ・東北、関東の住民:自分の病気を被ばくと結びつけること。「原発白血病」「原発心臓病」など。未来を予測し、避難・集団移住へと舵を切ること。国に対して①、②を要求すること。この運動が必須。

避難者の役割—被害の生き証人となり、命を守ること (11年3月12日に名古屋へ避難した矢部史郎さん。17年の文)

- 「日本政府の棄民政策に対して、私たちは人権を回復する闘いを進めていかなければなりません。その中心は、被曝受忍政策をやめさせることです。公衆の被曝受忍を認めない、阻止するという闘いです。すべての人が健やかに生きる権利を、取り返していかなくてはなりません。
- とはいって、「復興」政策が一夜にして覆ることはあります。少なくとも10年は、現在のような棄民状態が継続するでしょう。日本社会の破局は、緩慢に、時間をかけて、だらだらと進行していきます。これから私たちは、多くの人の死を見ることになります。放射線被曝によって、同志や友人や肉親が艶していく姿を見ることになります。
- 緩慢に進行する破局のプロセスの中で、私たちは死を意識し、生を意識することになります。このことは避けられない。私たちは否も応もなく、人間の死生を見つめることになる。無邪気に無頓着に生きるという態度は、しだいに失われていきます。生が意識され、生の時間が意識されるようになります。

最後に、全国の皆さんへー各地に
「Go west, come west!」を作りましょう



- そうして、人権の思想はラディカルな(根本的な)次元に回帰し、鍛えなおされます。行政的に管理されていたもろもろの生が、覚醒し、それぞれの生が自らの意義と課題を再定義していく。たんに生かされているのではない、それぞれの決意をもって生きようとする人々が、登場する。

- 命が大事。命どう宝。こう書くと、まったくかわりばえのしない退屈な表現に見えるかもしれません。保守的で、防衛的な標語である、と。それは違います。“命が大事”という合言葉は、いまもっともラディカルに、非妥協的に、国家制度に肉迫する転覆の思想となっているのです。これは闘いの思想です。攻勢的に声をかけあっていきましょう。“命が大事、と。”

→この中心になるのは避難者。将来避難者となるべき、全ての被害者。母親たちは子どもを守るために避難した。私も若い世代と年配世代の間に立つて運動をつなぐためには、生きていなければいけないと思った。命も地球環境も未来へつなげること

人衣025 人衣025 人同 人同

人民新聞

8年目の の 3.11

「史上最悪」の福島原発事故と健康被害 安倍首相「健康被害は一切ない」発言で 歯止めなく被ばく線量下限

渡辺悦司さん（市民と科学者の内部被ばく研究会）インタビュー



渡辺：被ばく被害の否定は、チエルノブリ原発事故以降の国際原子力マフィア＝「核帝国主義」の基本路線です。事故直後に山下俊一らが福島に入り、「笑っている人には、放射能の影響は来ません」と講演して回ったのが最初です。これは、「みんな笑って病気にな

プロフィール…1950年生まれ。大阪市立大経済学部大学院博士課程単位取得。マルクスの恐慌・危機理論などを研究。「市民と科学者の内部被曝問題研究会」会員。共著書に『原発問題の争点』、『放射線被曝の争点－福島原発事故の健康被害は無いのか』(ともに緑風出版)

ス」です。「被ばくの被害者があると思うから病気になると」という「主觀主義」が取られ、「取り締まらなければならない」とまで公言しています。

どんなに不正が発覚しても突き進む政府の方針は、

**全首長を動員した被害隠し
「放射能安全キャンペーん」**

原発事故被害ゼロ論の虚構
政府側専門家の「安全・安心」は一枚舌
編・国は全国のPTA大会や学校現場で「放射線のホント」『放射線副読本』を配り、「福島事故の被害はゼロ」「被ばくは体に悪影響がない」と主張し、問題によって、こゝ。
なつて死んでもらいまう」という示唆です。彼らの「放医研」内は「これは深刻にならないながら、市民向は「影響はない」と言はる。まことに、この文は「影響はない」と言はる。

②(1面から続く)五輪と被曝
③沖縄県民投票/福島の責任
④皇族と五輪/狹山・袴田
⑤ベネズエラへの経済制裁
⑥抗議声明/除染労働の賃金/貧困

辺税司さんは先日、「放射線被曝のむだりの健康影響の全体像の把握に向けた問題に取り上げる。『市民と科学者の内閣被曝による原発事故問題』」と題した、①放射線によるがんや心臓病に加え、脳や神経への影響等の症状も含め、人体影響への全体像を明らかにすべきだ。②政府の「福島事故の被曝による実行されれば、何度でも原発事故が許容され、自滅的結果にならぬか」と題だ。③「被害ゼロ論」の目的は、今の原発事故被害や将来の事故被害を防ぐにはなく、米国をはじめ帝国主義が進める「使える」小型核兵器の戦争に備えるべきだ。④被曝による危険性を正確に理解すれば、被曝はそのものを防ぐべきであつて、嘗々々明確にお決する必要があり、それは世界の終わりを世界の終章へ導くのである。こうしたことを、膨大な資料をもとに展開した（全文は<http://blog.netvibes.com/82>）。渡辺さんは話を聞いた。2回分で掲載する。

「書き上
る能力が落ち
た」と謂
ふが最大の問
題だためだけ
に、放射
能を主張して國
々の道でや
りかえす。

ついた、国際的な対応です。次の画期は、安倍首相の京五輪招致時の「過去・在・未来も福島事故の健影響は一切ありません」の発言です。実は日本語テキストでは、原発汚染の影響について言つたののように読めて、そうのように読めば、この発言は「放射線のホント」でも、「放射線のホント」でも、原爆に関する国側の最近の本でも、放射能による「致死量」には絶対に触れません。だとする「予防原則」を撤廃しました。放射能からの避難の必要性・正当性を無くせるからです。こうして「事故被害ゼロ論」は完成しました。

会は、1 mSv/年基準を進めています。一般住民の年間1mSv/年基準に相当する被ばく線量率を、現行の4倍または7倍に引き上げるのです。これが実施されると、「100mSv」は、国際社会や医研すら、放射能で人間が

ぶりずむ 運動百周年
だ。日本の植民地支配に根
本的否定を突きつけた朝鮮民衆のデモは、3月1日の動きに留まらず4月、5月と朝鮮各地に拡大し、また中國東北地方、ソ連沿海州、日本でも動きのあつた東アジア的なも

被害層し
ナヤンペーン」
2017年末に全省庁へ指
示した「風評被害払拭のた
めの原子力タスクフォー
ス」です。「被ばくの被害
があると思うから病気にな
る」という「干穢主義」が
取られ、「取り締まらなけ
ればならない」とまで公言
しています。
これにより農水省は「福
島県産を食べて応援」宣伝
を一層強化。外務省は、海
外に放射能安全キャンペー
ンを大々的に発信し、日本
に呼び込もうとしています
(日本の海外観光客は過去
最高を更新中)。また総務
省は、マスク対策でしょ
う。原発被害や避難者の報
道をさせず、福島に帰還し
た人々だけを報道していま
す。

昨年の「紅白歌合戦」で、
『嵐』の歌唱中に彼らの飯
館村訪問映像を流しまし
た。厚労省は、とにかく
東日本の病院の病者・死者

彼らの「放医研」内部では、「これは深刻になるぞ」といながら、市民向けには「影響はない」と言い続けました。彼らは今後何が起きるのかわかつていたのであり、被害ゼロ論は、事故前から決

Sv以下の被ばくの健康影響はわからない」と言っていたのを、安倍発言以後は「影響はない」と断定しました。2枚舌を「影響なし」で統一しました。また、被ばくの影響に閾値はなく、なるべく避けるべき

の被ばく者は居ないと否定してますが、年間20mSv以上定していますが、年間20mSvの帰還困難区域に住民を帰していませんから、5年間で100mSvに到達します。

福島県選市中の住民の初めに
く線量を3分の1に過小評定
価したことが大問題となつて
います。それでも規制委員会
は、IMSV解釈の改訂を
変わらず進めると言つてい
ます。これはいわば、「住
民に対する大量虐殺政策」
ではないでしょうか。

的では強調したのか、1910年以前の東アジアには王制国家のみ存在したが、1910年代になると、中国とロシアが共和制への革命を成就し、三一運動も共和制を志向した。独立の意味はこの点で強調されるべきだ――同時期の日本民衆の力の発現は、米騒動

。そして文科省は、「放射線のホント」で「被ばくしても影響は無い、遺伝的影響も一切無い」と生徒団を洗脳し続けるのです。

大震災の朝鮮人虐殺において最悪の形で発現した▼現在、ポピュリズムに対する議論がなされている。一般的には大衆迎合や反知性がその意味だが、ラクラウによると人民を構築する政治であるといふ。朝鮮人虐殺という日本の経験を含めて、百年前の東アジアにおける多様な民衆の力の発現が参考されるべきだ。この文脈で、天皇家についての直接的言及がある映画「金子文人と朴烈」の意味を議論した

線量を3分の1に過小評定したことなどが大問題となつたことが、規制委員会の改訂をもたらす要因となりました。それでも規制委員会は、IMSV解釈の改訂をやらず進めると言つています。これはいわば、「住民に対する大量虐殺政策」ではないでしょうか。

的では強調したのか? 1910 年以前の東アジアには王制国家のみ存在したが、1910 年代になると、中国とロシアが共和制への革命を成就し、三一運動も共和制を志向した。独立の意味はこの点で強調されるべきだ! 同時期の日本本民衆の力の発現は、米騒動

ふりすむ

今年は三二

